EAA座談会

「時代の危機と哲学——回帰する亡霊に向き合う」

日時：2022年3月31日(木)
午後3時から2時間程度

場所：東京大学駒場キャンパス
101号館1階11号室（EAAセミナー室）

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScq2WjsiQRtb7z4buP3x3UBtQ14vBMhba8EibcuD59IpG3BvQ/viewform

（収容人数の制限に達した為、来場受付を終了致しました。
Zoomよりご参加をお願い致します。）

Zoom(ハイブリッド)

https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZUlcuyhrjstGNDt4RYvzEBh8hq_d54XEp8w

ヨーロッパを舞台にして生じた第二次世界大戦の終結以降最大の領土紛争であるとも言われるロシアのウクライナ侵攻。この現下の情勢に対して、「文」にたずさわるわたしたちはどのようにこの情況を感じ、それにことばを与え、よりよき未来の希望を提示することができるでしょうか。
このたびは、『ロシアあるいは対立の亡霊』（講談社、2015年）などの著作をお持ちの乗松亨平さんをお迎えし、この大きな「時代の危機」とはいったいどのような事態なのかを議論したいと思います。

話題提供者　乗松 亨平（表象文化論コース）
応 答 者　星野 太（表象文化論コース）
　　王 欽（地域文化研究専攻）
　　鶴見 太郎（地域文化研究専攻）
司 会 者　石井 剛（EAA）

EAA
EAST ASIAN ACADEMY FOR NEW LIBERAL ARTS, UTokyo
東京大学東アジア藝文書院